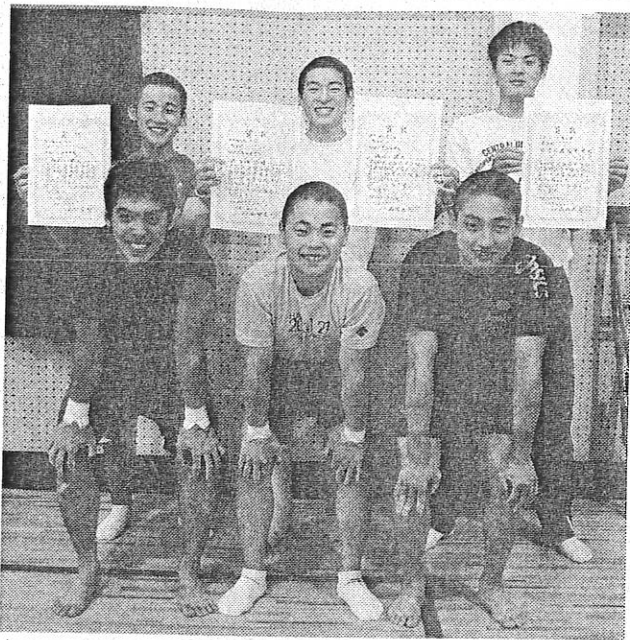




体操の近畿大会で団体3位になった田辺工業のメンバー。前列左から楠川雄太、山本群、佐々木伶緒君。後列左から筒井宏樹、鈴木孝彦、尾崎太一君。楠川君は個人総合で5位入賞、佐々木君は種目別のゆかで優勝した

田辺工業の団体での得点は

団体には2府4県の15校が出場。ゆか▽あん馬▽つり輪▽跳馬▽平行棒▽鉄棒の6種目を4選手が演技し、上位3人の得点を合計して団体優勝を争った。和歌山県からは和歌山北も出場。団体で10位だった。

近畿大会

田辺工業高が3位

体操競技 佐々木君ゆかで優勝

近畿高校体操競技選手権大会(近畿高体連など主催)が21、22日に京都府向日市の市民体育館であり、田辺工業が男子団体で3位に入賞した。個人総合では3年の楠川雄太君が5位に入賞。種目別では、2年の佐々木伶緒君が、ゆかで優勝。鉄棒では楠川君が3位に入った。

242・700。優勝した清風(大阪)は252・600、2位の洛南(京都)は245・100だった。田辺工業監督の柴田達也教諭(48)は「力みが出てしまった部分もあったが、8月のインターハイ前に課題が見つかったと前向きに捉えたい」と振り返る。

104人が参加した個人総合では、田辺工業から団体メンバーを含め10人が出場。楠川君の得点は81・950だった。佐々木君のゆかの得点は14・600で、自己記録を更新

新した。楠川君の鉄棒の得点は13・850だった。

団体メンバーでもある佐々木君は「種目別のゆかで優勝したことで、自分の力がある程度通用すると分かったが、ほかの種目では緊張もあって失敗した部分もある。普段の練習からよい演技を心掛けて、インターハイではチームに貢献したい」と話している。

チームのインターハイでの目標は、過去最高の6位入賞を上回ることだという。

田辺工業の団体メンバーは次の皆さん。3年―楠川雄太、山本群、鈴木孝彦、尾崎太一▽2年―佐々木伶緒▽1年―筒井宏樹